



論集編集委員会より

『ラテン・アメリカ論集』への投稿のお誘い

春の気配が感じられる季節となりました。いかがお過ごしでしょうか。

『ラテン・アメリカ論集』第53号（2019年12月発行予定）への原稿募集が始まっています。編集委員会では学会員の皆様の積極的な投稿をお待ちしております。とくに昨年（2018年）神田外語大学で開催された第55回全国大会で発表をされた方々には、積極的な投稿をお願いいたします。

投稿の応募締め切りは4月10日、原稿の締め切りは5月10日です。詳しくは、下記の案内をご覧ください。投稿規定・執筆要領は学会のホームページにも掲載しています。<http://www.js3la.jp/journal.html>

『ラテン・アメリカ論集』第53号の原稿募集のお知らせ

『ラテン・アメリカ論集』第53号の原稿を下記の要領で募集いたします。投稿を希望される方は、2019年4月10日までに、論題および予定原稿枚数を編集委員会・住田育法苑に郵便、または電子メールでご連絡下さい。原稿提出の締め切りは下記のとおりです。

提出された原稿については、学会規定に基づき、編集委員会が依頼する審査委員により査読が行われます。また最終的な掲載の可否、掲載のための加筆修正条件ならびに種別（論文、研究ノート等の分類）は、編集委員会が決定します。

- (1) 内容： ラテン・アメリカ地域に関する論文、研究ノート、調査報告、資料・機関紹介、書評等で未発表のもの。
- (2) 執筆要領：
 - ① 枚数制限は、論文、研究ノートの場合、刷り上がり図表込みで28頁まで、調査報告の場合、刷り上がり図表込みで14頁まで、資料・機関紹介、書評の場合、刷り上がり図表込みで7頁までとする。
 - ② 原稿の書式は、横書き、B5版、38字×35行、和文は明朝、欧文はTimes New Roman、10ポイント、余白（上下各30mm、左右各20mm）、文末注とする。なお、氏名、所属、タイトル、原稿種別の記載欄として刷り上がり時に1頁目の冒頭10行分が使用されることに留意する。
 - ③ タイトルは内容に即して平明・簡潔にする。副題の多用は避ける。英語訳、スペイン語訳、ポルトガル語訳のいずれか一つも付記する。
 - ④ 論文・研究ノートの巻頭には1/2頁程度の概要（Abstract / Resumen / Resumo）を欧文タイトルと同じ言語で記載する。
 - ⑤ その他、引用の形式や参考文献の記載方法等、詳細は学会ホームページ「学会誌ラテン・アメリカ論集」の「投稿案内および執筆要領」や、『ラテン・アメリカ論集』最新号巻末の「論集執筆要領」を参照のこと。
- (3) 投稿要領： 原稿は、マイクロソフト・ワードまたは一太郎で作成し、完成原稿のファイルとPDFファイルを提出する（紙媒体の郵送は不要）。図表は本文中の当該箇所に貼り付けるとともに、エクセル等によるデータファイルも合わせて提出する。なお、編集委員会、

事務局において図表の作成はしない。

(4) 原稿締め切り：2019年5月10日

(5) 投稿・連絡先：〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6

京都外国語大学 住田育法

電子メール： i_sumida@kufs.ac.jp

(受信確認メールがない場合は、再送信下さい)

以上

『ラテン・アメリカ論集』編集委員会
桑原小百合、坂口安紀、清水達也、住田育法